立石会頭のおじゃまします

50

明治期の創業より100年以上にわたり、歴史が育んだ文化や伝統をしっかりと次代へ繋ぐことを使命として商いを続けている2社に事業への想いを伺いました。

神仏に奉仕し日本の美意識を後世へ

森本社長に資料館をご案内いただきました

株式会社森本錺金具製作所

代 表 者／代表取締役　森本 安之助
住　　所／下京区楊梅通西洞院東入59
T　E　L／075-351-3772
事業内容／神社寺院錺金具・和洋建築金物・家具調度品(製)(修)

（株）森本錺金具製作所は明治10年に神社仏閣を彩る錺金具の製造・修理で創業し、以来、精緻な技術を次世代へ繋ぐことを使命としています。製造工程は多岐にわたりますが、ほとんどが手仕事です。型取り、設計、彫り・打ちにより形成し、鍍金で仕上げ、1枚の銅板に命を吹き込みます。「職人は卓越した心技を有し、携わる仕事の多くが神社仏閣へお納めし、信仰の対象となるものであることを心に刻み、日々仕事と向き合っています」と4代目の森本社長は語ります。その姿勢が高く評価され、宮内庁・文化庁・神社庁や各都道府県の文化財保護課御用達として、伊勢神宮の式年遷宮や平等院鳳凰堂の保存修理、祇園祭の神輿渡御など、歴史的な大事業に数多く関わられてきました。

「錺には作り手の心が映し出されます。神仏への信仰心に裏付けられた清らかな精神が欠かせません」と森本社長。70代のベテランから30代の若手まで9名の職人とともに、日本が誇る文化であり選定保存技術のひとつである錺金具と錺師の技を後世に伝えるための活動にも意欲的です。

日本の伝統文化を紙製品に託して

福井社長にギャラリーをご案内いただきました

株式会社福井朝日堂

代 表 者／代表取締役社長　福井 基之
住　　所／中京区三条通麩屋町東入
T　E　L／075-231-8291
事業内容／美術紙工芸品・カード(製)(卸)

（株）福井朝日堂は、明治25年に福井熊次郎が、絵草紙・和紙工芸品の製造販売により創業しました。当時は、小冊子、神社仏閣の入山券、鉄道切符などを手掛け、旧郵政法が改正されると、日本でいち早く私製絵はがきに取り組み、同社の礎を築きました。現在の取扱商品は、絵はがき、カード、ぽち袋、テーブルウェア、版画　と多岐にわたります。

福井社長は商品について、「選りすぐりの素材、京都ならではの技法を駆使し、日本の美意識を大切にしています」と語ります。同社では昔ながらの木版印刷やシルク印刷など、職人の手仕事により手間暇かけた温かみのある商品を得意としています。数十年来、フランクフルトやNYの見本市に毎年出展し販路を拡げ、近年は、インバウンドを背景に本物を求める外国人からの需要が旺盛なようです。「手紙はメールに置き換わりつつありますが、ギフト文化のある海外ではグリーティングカードが文化として定着しています。大英博物館やメトロポリタン美術館でも好評販売中です」と福井社長は海外市場での手ごたえを感じておられます。

会頭のひとこと

今回訪問した2社は、日本文化の中心地・京都で永年にわたり醸成された独自の美意識や職人技を付加価値の源泉とし、「文化×産業の創造」に取り組まれてきた知恵ビジネスの先駆けでありました。